

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		05 02 02	中期総合計画主要施策番号		3-02	担当課	部・課	衛生部医療政策課医師確保対策室	
事業名		ドクターバンク事業					内線	2684	
							E-mail	doctor@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	医師無料職業紹介事業のほか、各種イベントへの参加、医師個人への働きかけ、関係機関への要請等、医師確保に向けた取組を行う。							
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)]							
		医師確保を県政の最重要課題として取り組んでいるが、医師不足の解消には至っていない。							
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)]							
	事業内容	医師の養成が抑制されてきたことに加え、新医師臨床研修制度の導入以降の大学医局機能の低下、患者の病院志向の高まり、医療訴訟の増加など複数の要因が絡み合っている。							
[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)]									
実施期間	H19 ~	根拠法令等							
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価	
	県内での就業を希望する医師と医療機関との間で、きめ細やかな調整を行い、県内で就業する医師を確保する。		前年度以上の新規求職登録者を確保し、一人でも多くの就業成約を目指す。			・平成19年6月のドクターバンク立ち上げから20年度末までに、累計で43名の医師が求職登録を行い、うち27名の就業先が決定した。 ・20年度は、県内外の臨床研修病院合同説明会に6回参加し、少しでも多くの医学生・研修医に県内の医療機関で勤務してもらえるよう働きかけを行った。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	5,362	10,171	9,395	国庫・県単	国庫・県単	
	決 算 額 (B)		千円	5,212	8,772		実施方法	直接・負担金	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	3,904	6,190	9,395	歳出節別内訳等	報酬:2,195 共済費:298 報償費:14 旅費:1,335 需用費:2 役務費:1,703 使用料:89 負担金:3,136	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	1.00	2.00	2.00	(単位:千円)		
	概算人件費 (C)		千円	7,140	14,298	14,298			
概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	12,352	23,070	23,693				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	ドクターバンク求職登録者		人	12	31	未定	・知事・衛生部長による国等に対する要請(計10回)		
	ドクターバンクによる就業先決定者		人	6	21	未定	・県外の大学・病院等に対する医師派遣の協力要請(延べ15病院・大学)		
	臨床研修病院合同説明会への参加		回	4	6	6			
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・県政の最重要課題として医師確保対策に取り組んでいるが、医師不足は依然として深刻な状況にある。 ・長野県ドクターバンクの存在のさらなる周知・浸透や、より多くの医師への直接的・効果的なアプローチ方法など、有効性・効率性を高める工夫が必要である。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
課題の総括		一人でも多くの医師に県内で従事していただくため、ドクターバンクの周知を図るとともに、関係機関とも連携して、医師個人への働きかけや就業支援を推進・強化していく必要がある。							